

(2007年6月号)

目 次

〈 繊維情報 〉

・2007年4月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品).....	1
・2007年3月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類).....	11
・アジア 中国 2007年1-3月の繊維品貿易概況.....	14
香港 2007年1-3月の繊維品輸出概況.....	18
台湾 2007年(1-3月)の繊維品貿易概況.....	19
韓国 2007年(1-3月)の繊維品貿易概況.....	23
・米州 米国 2007年3月の繊維品輸入、中国が増勢を持続.....	27

〈 組合関係の会議と催事 〉

・(2007年5月).....	30
-----------------	----

〈 組合業務報告 〉

・輸出組合・第8回通常総会、輸入組合・第44回通常総会を開催(輸出入).....	33
--	----

〈 業務ニュース 〉

・米国 CBP24 時間ルール追加情報提出で6月にも最終規則案公表(輸出).....	35
--	----

〈 お知らせ 〉

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」について(輸出).....	36
・7月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入).....	37

〈 組合員情報 〉

・組合員情報(輸出入).....	37
------------------	----



◎ 2007年4月の繊維品輸出概況

I. 繊維品輸出概況

－前年同月比4%増の6億4,952万ドルと2ヶ月連続の増加－

2007年4月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比4%増（前年1-4月比:5%増）の6億4,952万ドルと、2ヶ月連続の増加となった。

なお、為替が2006年4月の117.11円に対し、2007年4月は118.83円と昨年同月に比べ約1%強の円安となっていることから、円ベースでは5%増（同7%増）の771億8,300万円となった。

<主要地域・国別輸出>

4月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の72%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けは微増ながら増勢を維持した。一方、西アジア、欧米の純輸出市場は、為替のフォローの風もあり、このところの好調を持続し、主要地域は軒並み増加推移となった。

東アジアの主要国向けでは、香港が横ばい、台湾、タイ、シンガポール、フィリピン、インドネシアが減少推移となったが、最大市場の中国を始め、韓国、ベトナム、マレーシアが増勢で推移し、全体として前年同月比1%増（同1%増）の4億6,977万ドルと微増ながら先月に続き増勢を維持した。

シェア5%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に増勢を持続し、全体として3%増（同13%増）の2,958万ドルとなった。

欧米市場も引き続き揃って好調な推移となっており、シェア10%のEUは、織物類が不振となっているが、原料類（綿・糸）、アパレルが共に好調に推移し、18%増（同24%増）の6,675万ドルと大幅に増加した。一方、シェア9%の米国も、原料類（綿・糸）、不織布が好調に推移し、5%増（同13%増）の5,515万ドルと堅調に推移した。

<主要品目別輸出>

これを主要商品別にみると、まず綿類の輸出は、全体として、数量で横ばい（同2%増）、金額で12%増（同15%増）と、数量横ばいの金額増となった。

太宗の合繊綿は、数量で1%減（同1%減）となったが、金額で15%増（同13%増）と、単価の上昇により、金額は2桁増となった。

この内、主力のアクリル綿は、最大市場の中国、インドネシア、米国、EUが健闘したが、イラン、香港、タイが減少し、数量で1%（同横ばい）の微減となったが、金額では、単価のアップにより、18%増（同12%増）と2桁の増加となった。

一方、ポリエステル綿は、タイ、EUは健闘したが、中国、米国が大幅に後退し、数量で8%減（同10%減）、金額で1%減（同4%増）と低調な推移となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力のEUが好調に推移し、数量で21%増（同17%増）、金額で39%増（同23%増）と数量、金額共に大幅な増加となった。

スフ綿は、東アジアは後退したが、欧州、米国、南アフリカが伸び、数量で6%増（同22%増）、金額で6%増（同23%増）と数量、金額共に堅調な推移となった。

糸類の輸出は、数量で1%増（同2%減）、金額で6%増（同8%増）と数量、金額共に増加推移となった。

主力の合繊長繊維糸は、数量で1%減（同3%減）、金額で4%増（同8%増）と数量微減の金額増となった。

その内訳は、ポリエステル長繊維糸は、中国、米国、EUが減少し、数量で7%減（同7%減）、金額で8%減（同2%減）と不振推移となった。また、ナイロン長繊維糸も、タイは健闘したが、中国、フィリピン、EUが振るわず、数量で8%減（同5%減）、金額で10%減（同7%増）と数量、金額共に低調な推移となった。

その他の合繊長繊維糸では、アクリル長繊維糸は、米国は健闘したが、主力のEUが振るわず、数量で7%減（同22%減）となった。但し、単価のアップにより、金額では15%増（同1%増）となった。

また、人絹糸は主力の中国、EUが健闘し、韓国は減少したが、数量で15%増（同3%増）、金額で48%増（同15%増）と数量、金額共に好調な推移となった。

太宗の**織物類**の輸出は、数量で3%減（同6%減）、金額で2%減（同2%減）と数量、金額共に微減推移となった。

織物の内訳では、中心品目の**ポリエステル長繊維織物**は、数量で5%減（同8%減）、金額で3%増（同1%減）と数量減の金額増となった。

地域的には、全体の69%を占める東アジア向けは、香港、韓国、ベトナム、フィリピンは好調に推移したが、最大市場の中国が横ばい、タイ、台湾、マレーシア、シンガポール、インドネシア、スリランカが不振推移となり、東アジア全体としては2%（同6%減）の微減となった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、アラブ首長国が好調に推移し、サウジアラビアは減少したが、西アジア全体として6%増（同18%減）となった。

欧米市場向けは、EUが17%減（同4%減）と2ヶ月連続の減少となり、米国も39%減（同17%減）と揃って不振推移となった。

ナイロン織物は、数量で横ばい（同8%減）、金額で1%減（同3%減）となった。

シェア80%の東アジア向けは、中国、韓国は健闘したが、香港、ベトナムが大きく後退し、全体として7%減（同13%減）となった。その他では、シェア7%の米国が17%減（同8%増）と不振推移となったが、シェア9%のEUは263%増（同167%増）と、このところ著しい増加が続いている。

織維品輸出実績（2007年4月）

単位	2007年4月						2007年1月～4月						2006年実績					
	数量		金額		前年同月比		数量		金額		前年同期比		数量		金額			
	トン	ドル	百万円	千ドル	数量	ドル	数量	ドル	百万円	千ドル	数量	ドル	数量	百万円	千ドル			
織維品総合計																		
原料(綿)合計	トン																	
スフ綿	32,415	77,183	10,336	649,522	100	112	140,394	377,327	102	117	115	406,322	118,992	942,373	8,102,550			
合繊綿 (ポリエステル) (アクリル)	5,051 24,850 3,536 18,877	2,162 7,991 705 5,754	86,985 18,196 67,244 48,426	86,985 18,196 67,244 48,426	106 99 92 99	106 115 99 118	23,982 106,918 14,261 82,198	85,888 285,144 24,817 204,241	122 99 90 100	125 115 105 113	115 113 104 112	62,898 313,244 46,753 238,023	25,833 90,882 8,787 65,808	25,833 90,882 8,787 65,808	222,022 781,236 75,520 565,715			
糸	トン																	
人絹糸	965	8,771	73,815	73,815	101	106	42,458	34,772	98	109	108	132,706	103,131	886,798				
スフ糸	32	977	8,221	8,221	115	148	3,923	3,734	103	117	115	12,210	10,436	89,752				
合繊糸 (ナイロン) (ポリエステル) 合繊短糸 綿糸	8,715 1,676 2,986 270 567	6,794 1,326 1,395 244 356	57,171 11,162 11,742 2,053 2,998	57,171 11,162 11,742 2,053 2,998	99 92 93 77 136	104 90 92 85 113	35,196 7,768 12,216 981 1,827	231,856 53,428 6,000 913 1,300	97 95 93 79 117	110 109 100 89 110	108 107 98 88 108	109,458 23,766 38,017 3,783 5,070	80,070 18,058 18,443 3,448 3,918	688,416 155,289 158,578 29,676 33,663				
織物総合計	千SM																	
絹織物	633	27,412	230,681	230,681	97	98	347,581	107,579	903,022	94	100	98	1,221,025	366,512	3,151,180			
人絹織物	6,534	1,070	9,001	9,001	88	84	2,388	4,057	34,064	87	92	90	7,586	12,682	109,036			
スフ織物	570	2,091	17,597	17,597	99	96	22,833	8,199	68,861	103	101	99	74,363	26,439	227,232			
合繊長織物 (ナイロン)	44,475	263	2,215	2,215	82	87	2,963	1,345	11,288	90	100	99	9,863	4,484	38,529			
合繊短織物 (ポリエステル)	5,657	10,195	85,794	85,794	100	107	154,776	36,827	309,274	94	104	102	582,325	127,729	1,098,929			
綿織物	33,084	1,283	10,793	10,793	100	99	18,507	4,184	35,145	92	99	97	72,490	15,668	134,852			
合繊短織物 綿織物	13,285 24,082	7,238 8,549	60,908 71,947	60,908 71,947	95 90	103 92	114,200 56,219	25,596 13,284	214,969 111,428	92 98	101 105	99 104	447,346 177,576	93,225 41,653	802,228 358,097			
毛織物	2,685	1,841	15,491	15,491	105	96	9,342	6,688	29,766	91	95	93	315,628	112,854	969,680			
不織布	57,735	5,311	44,691	44,691	119	109	22,749	22,256	186,829	117	113	111	609,944	62,968	541,547			
タイヤコード織物	1,755	282	2,374	2,374	150	168	5,680	1,029	8,637	114	122	120	17,335	2,872	24,684			
コーテッド織物	1,865	4,743	39,913	39,913	112	116	6,296	16,453	138,309	117	125	123	18,074	46,353	398,997			
ニット生地		5,732	48,241	48,241		101		22,398	187,982		107	105		73,497	631,885			
アパレル		3,331	28,030	28,030		100		14,577	122,277		107	105		40,656	349,292			
その他		11,264	94,792	94,792		104		41,351	347,150		108	106		127,392	1,095,334			

(注) 1. 織維品総合計は、HS関税分類1部の合計。
 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。
 3. アパレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

綿織物は、数量で10%減（同9%減）、金額で8%減（同7%減）と数量、金額共に不振推移となった。

82%のシェアを占める東アジア向けは、香港、ベトナム、マレーシア、フィリピンは好調に推移したが、最大市場の中国、タイ、台湾が大きく後退し、東アジア全体として12%減（同12%減）となった。その他の市場では、シェア11%の米国は5%増（同11%増）と、堅調な推移となった。

ポリエステル短繊維織物は、数量で2%減（同2%減）、金額で1%減（同2%増）と数量、金額共に微減推移となった。

全体の57%を占める東アジア向けは、最大市場の中国、また、ベトナム、香港が減少し、東アジア全体として8%減（同4%減）となった。一方、シェア41%の民族衣装用の西アジアは、アラブ首長国が微減となったが、サウジアラビア、クウェートが好調に推移し、西アジア全体として7%増（同横ばい）となった。

人絹織物は、数量で1%減（同3%増）、金額で4%減（同1%減）となった。

シェア72%の東アジアは、中国、韓国が健闘したが、最大市場の香港が大きく減少し、東アジア全体として3%減（同2%増）となった。一方、シェア15%の西アジアは、アラブ首長国が減少したが、サウジアラビアが増加し、全体として横ばい（同11%増）となった。また、欧米市場は、米国は45%増（同横ばい）と大幅に増加、EUは1%増（同2%増）と堅調な推移となった。

毛織物は、数量で5%増（同4%増）、金額で4%減（同1%増）と数量増の金額減となった。

地域的には、東アジアが95%とほぼ全量を占めている。最大市場の中国は微減となったが、香港、ベトナムが大幅増加となり、東アジア全体として5%増（同4%増）となった。

不織布の輸出は、数量で19%増（同17%増）、金額で9%増（同11%増）と数量、金額共に好調な推移となった。

全体の57%を占める東アジアは、タイが減少したが、最大市場の中国を始め、香港、韓国、台湾、シンガポール、マレーシアが揃って好調に推移し、全体として36%増（同22%増）と大幅に伸びた。

一方、欧米市場は、シェア34%の米国は3%増（同13%増）、シェア6%のEUは17%増（同3%増）と共に増勢で推移した。

コーテッド織物の輸出は、数量で12%増（同17%増）、金額で16%増（同23%増）と数量、金額共に、このところ好調な推移が続いている。

全体の81%を占める東アジアは、香港、タイが減少したが、最大輸出先の中国、ベトナムが伸び、全体として6%増（同11%増）となった。

欧米市場は、シェア7%の米国は71%増（同70%増）と大幅に増加、一方、シェア6%のEUも15%増（同3%増）と好調な推移となった。

ニット生地の輸出は、数量で2%増（同1%減）、金額で1%増（同5%増）と堅調な推移となった。

全体の約9割強を占める東アジア向けは、主要国では、最大市場の中国、インドネシアが増加したが、香港、韓国、ベトナム、タイ、台湾が不振推移となった。

一方、欧米市場向けは、米国、EUが揃って数量、金額共に増加推移となった。

アパレルの輸出は、金額で横ばい（同5%増）となった。

内容的には、布帛製衣類では、外衣類は、主要国では、台湾、香港、韓国、EU は増加したものの、中国、米国が大きく落ち込み、金額で3%減（同7%増）となった。一方、下着類は、台湾が減少したが、香港、韓国、中国、EU が健闘し、金額で40%増（同13%増）と大幅な増加となった。

ニット製衣類では、外衣類は、台湾が増加したが、香港、韓国、中国が減少し、金額で13%減（同1%減）となった。一方、下着類は、韓国、中国が健闘したが、台湾、香港が減少し、金額で4%減（同2%増）となった。

その他二次製品は、金額で4%増（同6%増）と堅調に推移した。

II. 原料(綿・糸)の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、ポリエステル綿が不振で推移、また主力のアクリル綿についても微減推移となったが、スフ綿、ビニロン綿が増勢で推移し、全体では横這いの32,415トンとなった。金額については全体的な輸出単価の上昇もあって12%増の8,699万ドルとなった。

<糸輸出>

糸は、合繊短繊維糸が減少、また主力の合繊長繊維糸についても微減推移となったが、人絹糸、綿糸が増勢推移となり、全体では1%微増の10,690トン、金額については6%増の7,382万ドルとなった。

2007年4月の原料(綿・糸)の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2007年4月				2007年1～4月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	5,051	106	18,196	360	23,982	122	85,888	358
合繊綿	24,850	99	67,244	271	106,918	99	285,144	267
ホ°ポリエステル	3,536	92	5,929	168	14,261	90	24,817	174
アクリル	18,877	99	48,426	257	82,198	100	204,241	248
他合繊綿	2,436	106	12,889	529	10,459	109	56,086	536
人絹糸	965	115	8,221	852	3,923	103	31,339	799
合繊長糸	8,715	99	57,171	656	35,196	97	231,856	659
ナイロン	1,676	92	11,162	666	7,768	95	53,428	688
ホ°ポリエステル	2,986	93	11,742	393	12,216	93	50,351	412
他合長糸	4,052	107	34,267	846	15,212	102	128,078	842
綿糸	567	136	2,998	528	1,827	117	10,910	597

出所：財務省統計

Ⅲ. 織・編物(絹・化合織・綿・毛)の輸出

4月の織物(絹・化合織・綿・毛)の輸出は、主力のポリエステル長繊維織物、ナイロン長繊維織物、綿織物、合繊短繊維織物、人絹織物等総じて伸び悩んだが、減少幅は各々小幅に止まったため、織物トータルとしては、数量で、前年同月比3%減(前年同期比:6%減)、金額で2%減(同2%減)と数量、金額共に微減推移となった。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地は、数量、金額共に堅調に推移した。また、コーテッド織物は、数量、金額共に先月に続き2桁増と好調な推移となった。

市場的には、織物トータルでは、主力の東アジアは、主要国では、ベトナム、韓国、マレーシアが数量、金額共に前年同月を上回り好調に推移した。一方、中国、フィリピンは数量増の金額減となり、香港、台湾、シンガポール、タイ、インドネシアは数量、金額共に前年を下回った。

また、純輸出市場について、西アジアは、アラブ首長国、サウジアラビアが、揃って数量、金額共に前年同月を上回った。また、欧米市場は、主力のポリエステル長繊維織物を中心として総じて低迷推移となり、EU、米国は、揃って数量、金額共に前年を下回った。

1. 各品目の輸出状況

(単位: 1000SM、1000\$、前年比は数量比%)

	2007年4月			2007年1-4月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	633	9,001	88	2,388	34,064	87
人絹織物	6,534	17,597	99	22,833	68,861	103
スフ織物	570	2,215	82	2,963	11,288	90
合繊(長)織物	44,475	85,794	100	154,776	309,274	94
ポリ(長)織物	33,084	60,908	95	114,200	214,969	92
ナイロン織物	5,657	10,793	100	18,507	35,145	92
合繊(短)織物	13,285	26,622	98	56,219	111,428	98
ポリ(短)織物	12,228	24,774	98	52,112	102,892	98
綿織物	24,082	71,947	90	97,355	299,766	91
毛織物	2,685	15,491	105	9,342	56,086	104
コーテッド織物	1,865	39,913	112	6,296	138,309	117
ニット生地	15,155	48,241	102	57,232	187,982	99

(注) 1. ポリエステル(長)、ナイロン(長)織物は、ポリエステル、ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

2. 品目別特記事項

ポリエステル長繊維織物

ポリエステル長繊維織物の4月の輸出は、数量で前年同月比5%減（前年同期比：8%減）、金額で3%増（同1%減）と数量減の金額増となった。

数量で全体の69%を占める東アジアは、主要市場では、香港が3%増（同2%減）、韓国30%増（同2%減）、ベトナム31%増（同26%増）、フィリピン11%増（同8%減）と健闘したが、最大市場の中国が横ばい（同5%減）に止まり、台湾39%減（同39%減）、タイ19%減（同8%減）、シンガポール37%減（同21%減）、マレーシア14%減（同20%減）、インドネシア81%減（同41%減）、スリランカ66%減（同49%減）と各々減少し、東アジア全体として2%（同6%減）の微減となった。

一方、純輸出市場では、西アジア向けは、アラブ首長国が15%増（同16%増）と好調に推移し、サウジアラビアは13%減（同29%減）と後退したが、西アジア全体として6%増（同18%減）となった。

欧米先進国市場は、米国は39%減（同17%減）と大幅な減少推移、また、EUも17%減（同4%減）と低調な推移となった。

EUの主要国別では、ドイツが95%増（同8%増）、イタリア14%増（同6%増）と好調に推移したが、英国が40%減（同4%増）、フランス54%減（同28%減）、スペイン7%減（同14%減）と各々減少推移となった。

ポリエステル（長）織物の1-4月の加工別輸出を見ると、太宗の浸染品は5%減、プリント品が4%減、生機・晒品が23%減と各々減少推移、一方、糸染品は11%増となっている。

ポリエステル短繊維織物

4月のポリエステル短繊維織物の輸出は、数量で2%減（同2%減）、金額で1%減（同2%減）と数量、金額共に微減推移となった。

市場的には、シェア57%の東アジアと同41%の西アジアの両地域向けでほぼ全量を占めている市場構成に変わりはないが、4月は西アジアが増加したのに対し、東アジアは後退推移となった。

東アジア向けについては、主要国では、最大市場の中国が1%減（同7%減）と減少したのを始め、香港11%減（同13%減）、ベトナム9%減（同16%増）、タイ62%減（同35%減）、シンガポール3%減（同横ばい）、インドネシア43%減（同39%減）と軒並み減少推移となり、全体として、8%減（同4%減）となった。

民族衣装用中心の西アジア向けは、アラブ首長国が2%減（同13%増）と減少したが、サウジアラビアが14%増（同19%増）、クエート21%増（同8%増）と増加し、西アジア全体として7%

増（同横ばい）となった。

品目別にポリエステル（短）織物の1-4月の輸出を見ると、太宗のT/C織物が4%減、100%スパン織物は6%減、T/R織物は11%減と各々減少、一方その他交織織物は8%増となった。

その他絹化合物織物

ナイロン織物の4月の輸出は、数量で横ばい（同8%減）、金額で1%減（同3%減）となった。

全体の80%と圧倒的なシェアを占め、昨年は好調に推移した東アジアは、最大市場の中国が10%増（同2%減）、韓国36%増（同6%減）と増加したが、香港が21%減（同46%減）、ベトナム47%減（同22%減）、タイ80%減（同53%減）と各々大きく後退し、東アジア全体として7%減（同13%減）となった。

一方、欧米市場は、シェア7%の米国は17%減（同8%増）と低調に推移したが、シェア8%のEUは263%増（同167%増）と先月に続き著しい増加となった。

加工別の1-4月の輸出は、太宗の浸染品が7%増、一方、生機・晒品は28%減となっている。

人絹織物の4月の輸出は、数量で1%減（同3%増）、金額で4%減（同1%減）と数量、金額共に微減推移となった。

全体の72%を占める東アジア向けは、中国が69%増（同11%増）、韓国18%増（同30%増）と大きく伸びたが、最大市場の香港が20%減（同7%増）、台湾27%減（同6%減）と後退し、東アジア全体として3%減（同2%増）となった。

東アジア以外の市場では、シェア15%の西アジアは、サウジアラビアが20%増（同2%減）と大きく伸びたが、アラブ首長国が10%減（同17%増）と後退し、全体として横ばい（同11%増）となった。

一方、欧米市場は、シェア4%の米国は45%増（同横ばい）と大きく増加、同じくシェア4%のEUは1%増（同2%増）と堅調な推移となった。

1-4月の素材別輸出では、全体の56%を占めるアセテートは3%減、8%のビスコースは13%減と減少したが、33%を占めるキュプラは21%増と大きく増加している。

加工別では、太宗の浸染品は6%増、生機・晒品が5%増、糸染品が5%増と各々増加推移、一方、プリント品は53%減と激減している。

スフ織物の4月の輸出は、数量で18%減（同10%減）、金額で13%減（同1%増）と数量、金額共に低調な推移となった。

全体の85%を占める主力の東アジア向けは、香港が31%増（同74%増）と健闘したが、圧倒的シェアを占める持ち帰り用中心の中国が20%減（同3%減）と減少し、東アジア全体として7%減（同5%増）となった。

その他主要市場では、量的には僅少であるが、シェア8%の米国は14%減（同18%減）、シェア7%の西アジアは、サウジアラビアが壊滅となり54%減（同48%減）と大幅な減少となった。

絹織物の4月の輸出は、数量で12%減（同13%減）、金額で16%減（同10%減）と数量、

金額共に低調な推移となった。

全体の91%を占める東アジア向けは、香港が72%増（同36%増）と大幅に増加したが、中国が28%減（同24%減）、ベトナム12%減（同9%減）と各々減少推移となり、東アジア全体として14%減（同12%減）となった。

その他市場では、シェア6%の民族衣装用主体の西アジアは、アラブ首長国が好調に推移し、全体として14%増（同33%減）となった。

綿織物

綿織物の4月の輸出は、数量で10%減（同9%減）、金額で8%減（同7%減）と、数量、金額共に低調な推移となった。

全体の82%と圧倒的なシェアを占める東アジア向けは、主要国では、香港が4%増（同1%増）、ベトナム45%増（同18%増）、韓国6%増（同17%減）、マレーシア8%増（同6%減）、フィリピン81%増（同17%増）と増勢で推移したが、最大市場の中国が11%減（同14%減）、タイ40%減（同26%減）、インドネシア20%減（同6%減）、シンガポール59%減（同35%減）と各々低迷し、東アジア全体として12%減（同12%減）となった。

一方、シェア11%の米国は、5%増（同11%増）と堅調な推移となった。

1-4月の加工別輸出では、太宗の糸染品は10%増と健闘しているが、浸染品は10%減、プリント品は20%減、晒品は25%減、生機品は53%減と何れも減少推移となっている。

コーテッド織物

4月のコーテッド織物の輸出は、数量で12%増（同17%増）、金額で16%増（同23%）と数量、金額共に前月に続き2桁の増加推移となった。

全体の81%のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国が18%増（同25%増）、ベトナム13%増（同30%増）、インドネシア55%増（同28%増）と好調に推移し、香港12%減（同7%減）、タイ29%増（同26%増）、韓国3%減（同11%増）と減少したが、東アジア全体として6%増（同17%増）となった。

一方、欧米市場は、シェア7%の米国は71%増（同70%増）、シェア6%のEUは15%増（同3%増）と共に好調な推移となった。

毛織物

4月の毛織物の輸出は、数量で5%増（同4%増）、金額で4%減（同1%増）と数量増の金額減となった。

市場的には、東アジアが95%とほぼ全量を占めている。主要国では最大市場の中国が2%減（同

5%増)となったが、香港が25%増(同15%増)、ベトナム70%増(同27%増)と増加し、東アジア全体として5%増(同4%増)となった。

ニット生地

ニット生地の4月の輸出は、数量で2%増(同1%減)、金額で1%増(同5%増)と数量、金額共に微増推移となった。

市場的には、東アジアが圧倒的なシェアを占めているが、これを主要国別に見ると、全体の62%のシェアを占める最大市場の中国が12%増(同5%増)、インドネシア159%増(同37%増)と好調に推移した。一方、香港は19%減(同19%減)、ベトナム16%減(同34%減)、韓国12%減(同92%増)、タイ26%減(同30%減)、台湾16%減(同6%減)と各々低調な推移となった。

また、欧米先進国向けは、米国は9%増(同30%増)と、昨年から引き続き好調を維持しており、EUも54%増(同32%増)と大幅な増加推移となった。

IV. 主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2007年4月の輸出は、金額(ドル)ベース(以下同じ)で、アパレルは、布帛製下着が増勢で推移した他は、布帛製外衣、ニット製外衣・下着が低調推移となり、全体では前年同月比、横這いの28,030千ドルとなった。他方、その他の品目については、敷物が増加推移、漁網・その他の網・網地及び細幅織物・紐類は減少推移となった。

2007年4月の主要繊維二次製品輸出状況

単位:千米ドル、金額:前年比%

	2007年4月		2007年1~4月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	17,870	106	72,487	108
外衣	10,974	97	43,878	107
下着	4,740	140	17,762	113
スカーフ・マフラー	526	143	2,151	97
ニット製衣類・付属品	10,160	90	49,790	102
外衣	2,844	87	15,882	99
下着	5,399	96	24,720	102
敷物	2,985	109	11,026	113
漁網・網・網地	4,313	83	14,044	101
細幅織物・紐類	14,325	97	52,436	95

◎ 2007年3月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

3月の輸入は、金額が円ベースで前年同期比77.1%（前月比は86.3%）、ドルベース同77.1%（前月比は88.7%）、数量(重量)同78.4%（前月比は90.8%）と、円金額が2ヶ月ぶりに減少、ドル金額および数量も2ヶ月ぶりに減少した。前月比は、金額、数量(重量)ともに減少。

糸類は数量で前年同期比2.1%増と9ヶ月続けて増加。内訳は、綿糸、人織(長)糸、人織(短)糸が増加、絹糸、毛糸、その他の糸が減少した。織物類は同4.2%減と2ヶ月ぶりに減少した。人織(長)織物、人織(短)織物、その他の織物が増加、絹織物、毛織物、綿織物、黄麻織物、メリヤス生地が減少した。衣類は同29.9%の大幅減となり2ヶ月ぶりに減少。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同21.6%減で2ヶ月ぶりの減少となった。

前月は前年同期比で円金額が43.9%増加、ドル金額も40.8%増、数量も34.4%の大幅増となったが、今月は円金額が22.9%減、ドル金額も22.9%減、数量も21.6%の減少となり、揃って20%を上回る減少となった。これは、中国の春節（旧正月）が去年は1月下旬だったものが今年は2月の後半だったため、春節休暇前の駆け込み輸入が起きた前月増加の反動と見られる。なお、3月の為替相場は、前年同月とほぼ同水準の117円28銭。ドル金額の内訳を見ると、糸類が1.8%の減少、織物類も9.8%減、太宗を占める衣類は25.0%の大幅減、二次製品も18.3%減少し、繊維製品計では22.9%の大幅減となった。

2. うち糸類

▶ 綿糸の輸入実績は、トンベースで前月比1.7%の微減となったものの、前年同月比は8.8%増となり4ヵ月ぶりのプラスとなった。全体の87%を占める純綿糸の輸入状況を前月に比較すると、2月に続いて2万梱台の低水準輸入となり、国別にみると首位のパキスタンは10.3%の増加となったものの、2位以下のインド、インドネシア、中国は減少となった。特に中国は春節の影響もあり24.9%と大きく減少した。番手別に見ると20番手中心が6.7%増、30番手中心は8.3%減、40番手中心は3.8%増、40番手以上は6.2%減となるなどまだら模様となっている。糸種別にみるとカード糸2.7%の微減、コマ糸もほぼ前月並の0.8%増と僅かではあるがプラスとなった。なお、混紡綿糸は19.1%の落ち込みとなった。

▶ 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース35.6%減と11ヶ月ぶりの減少となり、この9ヶ月間続いた20%を超える大幅増から大幅減に転じた。糸種別に見ると、紡毛糸が同38.0%増と15ヶ月連続で増加する一方、太宗を占める梳毛糸は同42.0%減となった。国別では、トップシェアの中国が同40.2%減と先月までの11ヶ月連続の増加から大幅減となり、第2位の

マレーシアも同 25.2%減少した。この他の主要国では、インド、イタリアが増加、台湾、タイ、ペルーからの輸入は減少。

- ▶ 人織糸の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比 10.5%の減少となったものの、前年同月比は 5.0%の増加となった。主要商品を前月に比べると量的に少ない人絹糸が 28.2%の増加となったが、主力商品の台湾を中心とするポリエステル糸が 12.1%減、米国、中国からのナイロン糸も 4.6%の減少となった。一方、人織(短)糸は主力の T/C, T/R のポリエステル紡績糸が 2.6%増となり、前月落ち込みの大きかったアクリル紡績糸は 19.4%の増と大きくプラスとなったが、スフ糸は 12.2%の減少となり、全体では前月比 1.2%の微減となったが、前年同月比は 3.0%のプラスとなった。

3. うち織物類

- ▶ 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比 1.9%の微減、前年同月比も 20.0%の大幅減となり、円安や中国からのオフア価額が強含んでいることにより低調な輸入となった。国別に前月に比較すると、全輸入量の 4 分 3 を占める中国が 3.1%の減少となったのをはじめ、2 位のインドネシア、3 位のパキスタンも僅かであるが減少した。品目別にみると、ポプリンが 14.2%の減少となったが、金巾、粗・細布、綾織はプラスとなった。

- ▶ 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比 24.2%減少し、6 ヶ月続けて減少となった。中国からの輸入が同 39.2%の大幅減で 6 ヶ月連続の減少、イタリアからの輸入も 9.0%減となった。また、第 3 位のイギリスは同 34.6%増で 2 ヶ月ぶりに増加。品種別では、紡毛織物が同 24.3%減と 2 ヶ月続けて減少、主力の梳毛織物も同 24.3%減と 6 ヶ月続けて減少した。

- ▶ 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比 0.8%減となったもののほぼ横這い、前年同月比は 5 ヶ月連続プラスの 18.3%増となった。品目別に前月に比較すると、主力商品のポリエステル織物が 9.5%減、ナイロン織物も 4.2%のマイナスとなったものの、ポリプロピレン等其の他織物は 2.2%の増加となった。国別にみると首位の中国は主力のポリエステル織物の落ち込みにより 19.0%の減少、2 位の韓国は農業用資材で単価の安いポリプロピレン織物の輸入が 8 割も増加したこともあり 56.9%の増加となった。一方、人織(短)織物は主力商品の T/C, T/R のポリエステル織物が 9.3%のプラスとなったが、インドネシアを中心とするスフ織物が 10.1%の減少となったことにより、全体では前月比 0.7%の微減とほぼ横這いとなったものの、前年同月比は 9.3%の増加となった。

4. うち衣類

- ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で 23.9%減、布帛製衣類も同 33.7%減、身の廻り品も

重量ベース 25.9%減少となり、衣類計で重量ベース 29.9%減少となった。ニット製衣類が2ヶ月ぶりに減少し、布帛製衣類、身の廻り品もともに2ヶ月ぶりに減少、衣類計も2ヶ月ぶりに減少した。

主要国別に見ると

- ▶ 中国は対前年同月比（枚数）でニット製衣類が 24.5%減少し2ヶ月ぶりに減少、布帛製衣類も 36.4%減で2ヶ月ぶりに減少、身の廻り品も重量ベース 27.2%減で2ヶ月ぶりの減少となった。今年1～3月の衣類計（重量）のシェアは 90.1%で前月から 0.7ポイント減（金額ベースでのシェアは 80.6%）。
- ▶ 韓国はニット製衣類が同 15.7%減少、布帛製衣類も同 43.3%の大幅減となり、ニット製衣類、布帛製衣類ともに11ヶ月連続で減少した。
- ▶ イタリアはニット製衣類が同 19.8%減と2ヶ月続けて減少、布帛製衣類も同 18.1%減となり5ヶ月続けて減少した。
- ▶ ベトナムはニット製衣類が同 18.2%減と4ヶ月ぶりに減少、布帛製衣類も同 23.9%減となり9ヶ月ぶりに減少した。
- ▶ 商品別には、ニット製衣類ではドレスが増加、コート、スーツ、アンサンブル、ズボン、スカート、ジャケット、アウターシャツ、セーター、スポーツウェア、下着類が減少となった。軒並み減少する中で、ドレスは対前年同月比（枚数）78.9%増と引き続き好調を維持している。布帛製外衣類では紳士用が同 35.2%減、婦人用も同 35.1%減少した。紳士用では、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、ズボン、下着類の全アイテムで減少、婦人用も、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、ドレス、スカート、ズボン、ブラウス、下着類が減少し、紳士と同じく全アイテムが減少となった。

前月は数量が対前年同月比 34.4%増加、金額も円ベースで 43.9%、ドルでも 40.8%増加となったが、今月は数量が 21.6%減少、金額も円ベースで 22.9%、ドルでも 22.9%減少となり、前月から一転し数量、金額とも大幅な減少となった。これは前述のとおり、中国の春節（旧正月）前の駆け込み輸入で増加した前月の反動が主な要因。ちなみに、1～3月の累計では、数量が 1.3%の減少、金額は円ベースで 1.4%増、ドルも 0.1%増とほぼ横ばい。

3月の国内消費市況は「中旬の気温の急激な低下により春物衣料の動きが鈍化した」（日本チェーンストア協会）こともあり低調となった。繊維輸入は、今年に入り「2月大幅増、3月大幅減」と激しい動きを見せているが、来月からは中国の春節の影響も消え本来の動向が見えてくると思われる。



◎ 中国、2007年1-3月の繊維品貿易概況

－輸出は16%増の303億6,496万ドルと急激に減速－

2007年1-3月の中国の繊維品輸出は、前年同期比16%増の303億6,496万ドルと急激に伸びは減速した。本年1月の伸びは前年同月比20%増、2月は同74%増と飛躍的に伸びたが、3月は同23%減と一転して大幅に減少した結果である。この異例の減少の要因としては、前年3月が高水準の伸びとなったこと、輸出還付税率の引き下げへの警戒感、輸出額水増しへの監視の強化等の要因が考えられるが、今後中国の輸出がどのように推移するか、その動向が注目される。

<地域別・国別輸出状況>

地域別では東アジアがシェア38%(前年同月比2%増)、ヨーロッパが同26%(同30%増)、北米が同17%(同37%増)、西アジアが同6%(同9%増)、中米が同3%(同13%増)、南米が同3%(同31%増)、アフリカが同5%(同27%増)、大洋州が同3%(同12%増)の市場構成となっており、各地域共になお増勢を保っているが、その伸びは1-2月に比べ、軒並み大幅な減速推移となっている。

国別では、1位EU(67億2,001万ドル:24%増)、続いて米国(45億544万ドル:36%増)、日本(41億6,604万ドル:1%減)、香港(36億2,681万ドル:2%増)、韓国(11億3,189万ドル:3%増)、ロシア(9億4,955万ドル:22%増)、カナダ(7億6,786万ドル:44%増)、オーストラリア(6億4,694万ドル:11%増)、アラブ首長国(5億9,284万ドル:13%増)、トルコ(5億1,854万ドル:186%増)、南アフリカ(3億3,959万ドル:12%増)、シンガポール(3億3,533万ドル:15%減)の順となっている。

地域別の輸出と同様に、何れの国向けにも、1-2月の伸びに比べ、1-3月は大幅に減速しているのが国別輸出推移の特徴である。

<品目別輸出状況>

品目別では、中国の繊維品輸出全体の63%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は、1-2月の48%増から20%増の190億1,656万ドルと大きく減速した。

内容的には、ニット製の衣料品及び同付属品の輸出が24%増の89億3,601万ドル、布帛製衣料品及び同付属品の輸出は17%増の100億8,055万ドルと共に大幅に減速している。

衣料品の主要輸出先は、ニット製衣料品は、トップ市場は日本(16億2,042万ドル:3%増)、続いてEU(14億8,008万ドル:28%増)、米国(12億919万ドル:78%増)、香港(9億4,545万ドル:3%増)、カナダ(3億2,802万ドル:94%増)、ロシア(3億7,655万ドル:11%増)、

オーストラリア（2億9,752万：14%増）、韓国（2億9,072万ドル：横ばい）、アラブ首長国（1億7,060万ドル：21%増）の順となっており、今年1-2月の伸びからは、米国、EUも含めて総じて伸び率は大きく減速している。

布帛製衣料品の輸出先は1位がEU（24億4,665万ドル：32%増）、以下、米国（19億7,138万ドル：43%増）、日本（18億4,907万ドル：3%減）、香港（9億901万ドル：4%増）、韓国（3億7,139万ドル：3%増）、ロシア（3億1,335万ドル：18%増）、カナダ（3億450万ドル：30%増）、オーストラリア（2億922万ドル：9%増）、パナマ（1億5,034万ドル：28%増）の順で、ここでも、米国、EUの減速、またその他諸国向けの減速（日本はマイナス）も目立っている。

衣料品以外の素材輸出も、綿類を除き、衣料品と同様、その伸びは減速している。

まず織物類の輸出は、太宗の綿織物、合繊長繊維織物及び合繊短繊維織物が揃って伸び悩み傾向となり、全体として、数量で3%減の37億6,348万メートル、金額で3%増の37億2,036万ドルと数量減の金額増となった。

糸類の輸出も、各品目共に伸びは鈍化しているが、合繊長繊維糸、中でも特にポリエステル長繊維糸の増加が依然大きく、また太宗の綿糸、合繊短繊維糸も増勢を維持しており、全体として数量で23%増の45万4,362トン、金額で16%増の14億6,324万ドルと、数量、金額共に増加推移となっている。

綿類の輸出は、天然繊維、ポリエステル綿を中心とする合繊綿、またスフ綿の輸出が共に大增勢で推移し、数量で48%増の15万6,853トン、金額で36%増の4億3,092万ドルと、規模は未だ小さいが、高い伸びを維持している。

－輸入は9%減の54億5,097万ドルと低調な推移－

一方繊維品輸入は、綿類の輸入が、綿花輸入の急減もあり大幅に減少、糸類は横ばい、織物類の輸入は増加推移となり、全体として9%減の54億5,097万ドルとなっている。

この結果、中国の2007年1-3月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同期比24%増の249億1,400万ドルとなっている。

<地域別、国別輸入状況>

地域別では東アジアがシェア74%（前年同期比：4%増）を占め、西アジアが同2%（同48%減）、ヨーロッパが同8%（同17%増）、北米が同6%（同60%減）、中米が同0.3%（同50%減）、南米が同1%（同60%減）、アフリカが同2%（同59%減）、大洋州が同7%（同24%増）の市場構成となっており、東アジア、ヨーロッパからの輸入は増加しているが、北米からの減少が目立っている。

国別では、1位日本（7億9,661万ドル：1%減）、続いて台湾（7億3,840万ドル：3%減）、韓国（5億8,087万ドル：2%減）、EU（5億3,267万ドル：17%増）、インド（3億9,642万ドル：44%増）、香港（3億4,933万ドル：5%減）、オーストラリア（3億3,945万ドル：28%増）、米国（3億1,003万ドル：60%減）、パキスタン（1億8,293万ドル：3%増）、ウズベキスタン（1億2,044万ドル：46%減）の順となっている。米国の急減は、綿花の輸入減が最大の要因である。

<品目別輸入状況>

品目別輸入を見ると、綿関係では、天然繊維の輸入は米国よりの綿花の輸入が大きく減少し、また、合繊綿の輸入も低調で、数量で38%減の96万3,251トン、金額で30%減の15億8,534万ドルと大幅な減少となった。

糸関係は、合繊短繊維糸は微増推移にあるが、太宗の綿糸は横ばい、合繊長繊維糸はポリエステル長繊維糸、ナイロン長繊維糸が共に低調で、全体として数量で3%減の40万2,291トン、金額で1%減の9億8,941万ドルとなった。

一方織物類は、太宗の綿織物が増加推移、合繊長繊維織物、合繊短繊維織物は数量減の金額増となっており、トータルでは、数量で2%減の8億7,648万メートル、金額で4%増の12億4,650万ドルと数量減の金額増となった。

その他品目では、ニット生地が金額で15%増の4億8,378万ドル、コーテッド織物が3%増の2億3,839万ドルと増勢で推移している。

また衣料品は、額は小さいが、ニット製衣料品が10%増の1億5,859万ドル、布帛製衣料品が4%増の2億1,161万ドルと何れも着実に増加している。

2007年3月の中国の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル

	輸 入				輸 出				
	2006年実績		2007年1月～3月		2006年実績		2007年1月～3月		前年比
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計	TON	25,683,011	TON	30,364,964	TON	138,077,857	TON	30,364,964	116
スフ綿	TON	5,410,841	TON	48,165	TON	1,417,518	TON	156,853	148
合繊綿	TON	116,827	TON	344,456	TON	101,783	TON	26,509	298
(ポリエステル)	TON	624,567	TON	1,125,033	TON	430,089	TON	100,363	137
(アクリル)	TON	262,942	TON	341,165	TON	318,907	TON	86,839	141
糸合計	TON	337,144	TON	687,536	TON	6,325	TON	804	242
人絹糸	TON	1,758,737	TON	4,328,168	TON	6,172,372	TON	454,362	123
スフ糸	TON	28,037	TON	85,799	TON	341,971	TON	25,894	142
合繊長繊維糸	TON	27,651	TON	96,447	TON	161,167	TON	11,562	148
(ナイロン)	TON	595,118	TON	1,550,919	TON	1,323,400	TON	183,204	152
(ポリエステル)	TON	266,533	TON	755,981	TON	336,401	TON	23,816	111
合繊短繊維糸	TON	271,784	TON	486,182	TON	666,310	TON	132,435	162
綿糸	TON	127,743	TON	352,440	TON	1,146,321	TON	91,310	113
綿物合計	TON	938,218	TON	2,004,437	TON	1,827,260	TON	123,590	104
絹織物	千LM	4,373,611	千LM	5,978,753	千LM	17,490,810	千LM	3,763,477	97
人絹織物	千LM	37,739	千LM	107,364	千LM	786,655	千LM	45,393	86
スフ織物	千LM	79,687	千LM	142,986	千LM	35,213	千LM	10,459	116
合繊長繊維織物	千LM	46,173	千LM	89,513	千LM	710,912	千LM	191,512	86
(ナイロン)	千LM	1,925,006	千LM	2,017,757	千LM	4,894,432	千LM	1,241,599	92
(ポリエステル)	千LM	547,503	千LM	547,808	千LM	160,404	千LM	37,662	62
合繊短繊維織物	千LM	969,722	千LM	1,047,800	千LM	4,056,255	千LM	1,063,166	103
綿織物	千LM	623,181	千LM	780,132	千LM	2,979,684	千LM	818,980	99
毛織物	千LM	1,498,337	千LM	2,183,698	千LM	7,020,604	千LM	1,367,809	105
不織布	千LM	68,320	千LM	514,391	千LM	560,733	千LM	17,850	102
タイヤコード織物	TON	153,255	TON	596,913	TON	443,284	TON	46,741	106
コーテッド織物	TON	18,241	TON	74,230	TON	250,266	TON	20,391	107
ニット生地	TON	239,554	TON	1,075,922	TON	1,428,708	TON	138,390	113
ニット製衣料	TON	487,887	TON	2,153,487	TON	4,640,538	TON	867,056	408
布帛製衣料									124
その他									117
									110

出所:中国海関統計



◎ 香港の2007年1-3月の繊維品輸出概況

—前年同期比1%増と堅調推移—

香港を取り巻く繊維品輸出環境は、2005年からの枠フリー、2006年からの中国に対する欧米枠の再設定もあり、特に中国との特殊な関係もあって、複雑な時代を迎えているが、2007年1-3月の繊維品輸出は、前年比1%増の86億4,169万ドルと堅調に推移している。

—地域別・国別輸出状況—

地域別の輸出先をみると、全体の41%を占める東アジア向けは7%減の35億1,097万ドル、27%を占める北米が9%増の23億4,671万ドル、25%を占めるヨーロッパが8%増の21億7,226万ドルで、この3地域で全体の輸出の93%を占めているが、欧米向の伸びに対し、東アジア向けの不振が目立っている。

主要国別輸出では、1位の中国は8%減の22億6,694万ドル、続く米国は9%増の21億3,335万ドル、EUは8%増の20億6,685万ドルで、上位3国のうち中国は減少しているが、米国、EU向けは好調に推移している。

以下日本が2%増の3億7,552万ドル、カナダ10%増の2億1,336万ドル、オーストラリア横ばいの1億6,221万ドル、ベトナム18%増の9,540万ドル、インドネシア横ばいの9,416万ドル、カンボジア3%増の9,100万ドル、バングラデッシュ13%減の8,863万ドル、フィリピン2%増の7,736万ドルの順となっている。

—品目別輸出状況—

品目別輸出では、全体の輸出の67%を占める最大輸出品目の衣料品は、ニット製衣料品が4%増の26億4,055万ドル、布帛製衣料品が5%増の31億3,661万ドルで、共に堅調に推移した。

織物類の輸出は、主要織物の綿織物、合繊長繊維織物及び合繊短繊維織物が揃って、数量、金額共に減少し、織物全体として、数量で11%減の16万247トン、金額で5%減の9億9,911万ドルと低調な推移となった。

原料関係の輸出も低調で、糸類の輸出は、最大輸出品目の綿糸、また合繊長繊維糸が数量、金額共に減少推移となり、全体として、数量で11%減の21万220トン、金額で7%減の7億2,904万ドルとなった。また綿類の輸出も低迷し、数量で6%減の3万6,060トン、金額で4%減の4,543

万ドルとなっている。

香港の2007年1-3月主要国向け輸出状況(単位:1000ドル)

	2006年(1-3月)	前年同期比 (%)	2007年(1-3月)	前年同期比 (%)
全世界	8,567,944	105	8,641,694	101
中国	2,477,057	112	2,266,935	92
米国	1,950,498	97	2,133,350	109
EU	1,912,044	104	2,066,845	108
日本	368,950	93	375,516	102
カナダ	193,830	113	213,359	110
オーストラリア	162,920	101	162,213	100
ベトナム	81,160	110	95,400	118
インドネシア	94,011	108	94,163	100
カンボジア	88,310	117	90,998	103
バングラデシュ	102,060	125	88,625	87
フィリピン	75,820	101	77,363	102
シンガポール	79,026	101	71,091	90
台湾	124,851	123	70,986	57



台湾

◎ 台湾の2007年(1-3月)の繊維品貿易概況

—輸出は前年比1%減の26億3,287万ドル—

<国別・地域別輸出>

台湾の繊維品輸出は、近年は韓国と同様、中国を始めとする新興東アジア諸国との競合激化から厳しい環境に立たされているが、台湾の通関統計によれば、2007年1-3月の台湾の繊維品輸出は前年同期比1%減の26億3,287万ドルとなっており、依然停滞を余儀なくされている。

地域的には、全体の70%を占める東アジアは1%減の18億3,286万ドル、シェア13%の北米も1%減の3億3,838万ドル、同6%の欧州は9%減の1億6,245万ドルと主要3地域は何れも苦戦しており、同4%の西アジアは23%増の1億931万ドルと唯一好調に推移した。

国別では、昨年までトップ輸出市場であった香港向けが14%減の4億7,195万ドルと大幅に減少し、代わって中国向けが5%増の5億480万ドルでトップ市場となった。以下米国(3億1,754万ドル:1%減)、ベトナム(2億4,943万ドル:12%増)、EU(1億2,355万ドル:20%減)、インドネシア(1億1,307万ドル:4%増)、日本(8,735万ドル:14%増)、タイ(7,117万ドル:1%減)、カンボジア(6,015万ドル:14%増)、フィリピン(5,540万ドル:1%増)の順となっている。

<品目別輸出>

品目別輸出では、原料関係の輸出は、綿類の輸出が、数量で17%減の16万3,960トン、金額で2%増の2億7,812万ドルと数量減の金額増となった。

太宗の合繊綿は、アクリル綿は好調に推移しているが、中心品目のポリエステル綿が減少し、数量で22%減の13万899トン、金額で6%減の2億857万ドルとなった。

合繊綿の主要市場は、数量で中国、米国、ベトナム、香港、イランの順で、米国、イランは、数量、金額共に大幅な増勢推移となったが、逆に中国、ベトナム、香港は、数量、金額共に大きく減少している。

糸類の輸出は、数量で横ばいの25万6,739トン、金額で4%増の5億4,636万ドルと数量横ばいの、金額微増となった。綿糸の輸出は、数量で14%増の2万9,190トン、金額で16%増の4,962万ドルと数量、金額共に2桁の増加となったが、最大品目の合繊長繊維糸は、ナイロンは不振推移となっているが、ポリエステルが好調な推移となり、全体として、数量で2%減の20万7,231トン、金額で3%増の4億3,864万ドルと数量微減の金額微増となった。

合繊長繊維糸の主要市場は、中国、ベトナム、香港、EU、韓国、日本の順で、この6カ国で数量的に全体の73%を占めている。ベトナム、EU、韓国、日本は数量、金額共に増加、中国、香港は数量、金額共に減少推移となった。

織物類の輸出は、金額で3%減の5億7,156万ドルとなった。

内訳は、中心品目のポリエステル（長）織物が数量で6%減の2億4,256万SM、金額で2%減の1億7,792万ドル、一方、ナイロン（長）織物も数量で6%減の1億8,449万SM、金額で1%減の1億1,233万ドルと、何れも減少推移となっている。

ポリ（長）織物の主要市場は、数量ベースで、香港、中国、ブラジル、EU、ベトナム、アラブ首長国、米国の順で、このうち、中国、ブラジル、ベトナム、アラブ首長国は数量、金額共に増加推移、香港、EU、米国は数量、金額ともに後退した。

その他の主要織物では、綿織物が数量で7%減の7,175万SM、金額で7%減の1億175万ドル、合繊短繊維織物は数量で25%減の6,221万SM、金額で17%減の5,457万ドルと何れも減少推移となった。またニット生地は金額で横ばいの4億1,503万ドル、コーテッド織物は金額で7%減の2億2,523万ドルと減少推移となった。

なお衣料品の輸出は、布帛製衣料品が14%減の8,135万ドル、ニット製衣料品は2%減の1億6,681万ドルと各々減少推移となっている。

—輸入は1%増の6億4,918万ドルと微増推移—

繊維品の輸入は、織物類、衣料品の輸入は低調であるが、素材類（綿・糸）の輸入が増加し、1%増の6億4,918万ドルと微増推移となった。

2007年1～3月の台湾の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル、%

	輸 入				輸 出				
	2006年実績		2007年(1～3)		2006年実績		2007年(1～3)		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計	TON	2,711,416	98,180	649,181	TON	2,632,868	163,960	278,116	83,102
スフ綿	TON	376,833	529,011	98,180	115,015	184,076	24,172	44,826	120,150
合繊綿	TON	15,510	31,375	4,727	638,329	920,097	130,899	208,573	78,94
(ポリエステル)	TON	20,029	50,009	4,336	493,744	633,144	91,068	124,444	68,78
(アクリル)	TON	8,204	11,919	1,403	132,544	254,404	36,098	73,953	114,130
糸合計	TON	923	2,686	520	999,439	2,191,776	256,739	546,356	100,104
人絹糸	TON	106,006	378,731	28,134	9,920	31,665	2,483	7,322	108,112
スフ糸	TON	1,995	7,889	583	12,223	34,762	3,682	10,087	137,131
合繊長繊維糸	TON	1,015	3,469	144	815,536	1,752,135	207,231	438,644	98,103
(ナイロン)	TON	53,197	232,456	13,519	215,047	668,802	48,408	155,724	89,96
(ポリエステル)	TON	28,880	115,788	7,130	586,933	975,236	152,728	263,459	103,109
合繊短繊維糸	TON	11,593	32,812	3,402	62,735	187,538	13,780	37,302	93,96
綿糸	TON	14,443	34,554	3,058	96,879	167,945	29,190	49,822	114,116
織物合計	TON	33,774	94,265	10,502	2,665,626	571,555	14	77	60,73
絹織物	千SM	162,161	4,376	108	75	351	14	77	60,73
人絹織物	千SM	589	4,376	108	35,394	31,705	7,682	8,139	79,96
スフ織物	千SM	7,917	7,818	1,505	98,337	112,401	24,279	23,852	123,101
合繊長繊維織物	千SM	1,319	5,215	355	1,746,563	1,746,563	184,492	380,870	100,100
(ナイロン)	千SM	48,245	48,245	0	883,018	537,479	242,561	112,330	94,99
(ポリエステル)	千SM	53,856	17,596	19,732	1,084,012	798,984	62,214	177,919	94,98
合繊短繊維織物	千SM	21,597	17,488	3,788	315,320	279,634	71,749	54,567	75,83
綿織物	千SM	94,785	28,987	18,752	350,217	483,706	169	101,569	93,93
毛織物	千SM	77,243	56,664	17,951	1,324	6,555	169	777	110,91
不織布	TON	1,854	8,825	351	64,930	219,097	15,610	52,528	102,104
タイヤコード織物	TON	17,917	74,002	4,248	32,782	131,897	8,564	34,456	113,112
コーテッド織物	TON	9,689	40,711	2,173	208,129	1,014,710	46,404	225,225	90,93
ニット生地	TON	6,190	33,880	1,630	1,968,306	1,968,306	415,025	166,806	98,98
ニット製衣料			31,416	6,023	789,436	789,436		81,350	86,86
布帛製衣料			475,145	103,529	369,413	369,413		261,450	97,97
その他			680,599	150,107	1,210,122	1,210,122			
			305,760	73,599					

出所：台湾関税統計

〈国別・地域別輸入〉

地域別輸入では、全体の66%を占める東アジアからの輸入は、1%減の4億3,167万ドル、同14%の欧州は5%減の9,060万ドルと低調な推移となっているのに対し、同9%の北米は5%増の5,726万ドルと増加傾向となっている。

国別では、最大輸入国は中国で7%増の1億3,439万ドル、以下EU(7,987万ドル：4%減)、日本(5,735万ドル：11%減)、米国(5,650万ドル：6%増)、ベトナム(4,400万ドル：19%増)、インド(4,049万ドル：21%増)、香港(3,729万ドル：39%減)、韓国(2,972万ドル：23%減)、インドネシア(2,314万ドル：15%増)の順となっている。

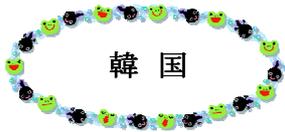
〈品目別輸入〉

品目別輸入では、綿類は天然繊維原料の輸入が中心であるが、数量で5%増の9万8,180トン、金額で16%増の1億4,940万ドルと数量、金額共に増加推移となった。

糸類の輸入も、数量で9%増の2万8,134トン、金額で8%増の9,784万ドルと数量、金額共に増勢推移となった。内訳は、合繊長繊維糸の輸入は、ナイロン長繊維糸は減少したが、ポリエステル長繊維糸の増加により、数量で3%増の1万3,519トン、金額で6%増の5,948万ドルとなった。その他の糸の輸入は、綿糸が数量で26%増の1万502トン、金額で20%増の2,730万ドルと大幅増勢で推移、一方、合繊短繊維糸は、数量で6%減の3,058トン、金額で10%減の694万ドルと低調な推移となった。

織物類の輸入は、金額で9%減の3,453万ドルと低調な推移となっている。内訳は、綿織物が数量で4%増の1,795万SM、金額で4%増の1,217万ドルと増勢推移となったが、合繊短繊維織物は数量で48%減の1,875万SM、金額で31%減の634万ドル、またポリエステル長繊維織物は数量で23%減の379万SM、金額で26%減の287万ドルと数量、金額共に何れも低調な推移となった。

一方、昨年は中国からの輸入増で大幅に増加した、衣料品の輸入は、布帛製衣料品が8%減の1億5,011万ドル、ニット製衣料品が5%減の1億353万ドルと今年に入って沈静化している。



韓国

◎ 韓国の2007年(1-3月)の繊維品貿易概況

—輸出は前年同期比3%増の30億4,790万ドルと久々の増加傾向—

韓国の繊維品輸出は、中国を始めとする東アジア諸国との競合の激化等により、過去4年連続の減少推移を余儀なくされているが、2007年1-3月の輸出は3%増の30億4,790万ドルと久々の増加傾向を記録している。

<国別・地域別輸出>

地域別では、シェア53%を占める東アジア向けは2%増の16億2,842万ドル、同15%の北米が11%減の4億4,774万ドル、同14%の欧州が26%増の4億3,349万ドル、同7%の西アジアが横ばいの2億1,363万ドルと、主要地域では枠が撤廃された、欧米市場で、欧州が大幅に増加しているのに対し、北米が2桁の減少と対照的な推移となっているのが注目される。

主要国では、第1位市場の中国は2%減の6億214万ドル、続く米国が11%減の4億2,234万ドルと共に不振推移、一方第3位のEUが33%増の3億2,528万ドルと大幅な増加となっている。中国に枠が再設定された優位性をEU向けは享受し、逆に米国向けは苦戦している。以下、ベトナムが12%増の2億1,380万ドル、香港が13%増の1億9,362万ドル、インドネシアが11%増の1億7,662万ドル、日本が1%減の1億5,756万ドル、アラブ首長国が6%減の8,262万ドルの順となっている。

<品目別輸出>

品目別輸出では、原料関係では、綿類の輸出は、数量で10%増の18万6,742トン、金額では25%増の2億7,176万ドルとなった。太宗品目の合繊綿は、中心品目のポリエステル綿、また、アクリル綿が共に好調で、数量で9%増の15万9,031トン、金額で26%増の2億1,906万ドルとなった。合繊綿の最大市場(金額ベース)はEUで80%増の7,375万ドルと大幅に増加、続いて中国が13%増の4,893万ドル、米国11%増の4,796万ドル、ロシア105%増の1,026万ドルと何れも2桁の伸びとなっている。この4カ国で全体の70%を占めている。

糸類の輸出も、数量で8%減の9万7,220トン、金額で7%増の3億4,027万ドルと数量減の金額増となった。太宗品目は合繊長繊維糸であるが、中心品目のポリエステル長繊維糸が大きく減少したが、ナイロン長繊維糸が好調で、数量で9%減の8万3,226トン、金額で9%増の2億7,491万ドルと数量減の金額増となった。合繊長繊維糸の最大市場(金額ベース)は中国で3%減の4,805万ドルと後退、第2位はEUで12%増の4,468万ドルと2桁の増加、続いて香港が134%増の2,956万ドルと大幅に増加、米国が2%減の2,788万ドル、トルコが27%増の2,650万ドルとなっている。

織物類の輸出は、金額で4%減の28億5,762万ドルと減少推移となった。

中でも韓国繊維品輸出の代表的品目であったポリエステル長繊維織物は、金額で6%減の2億5,447万ドルと引き続き低調な推移となっている。

ポリエステル長繊維織物の主要輸出国別（金額ベース）は、1位が中国で12%増の3,918万ドルと大幅に減少、2位がアラブ首長国で8%減の2,930万ドル、続いてEUが4%減の2,211万ドル、米国が9%減の2,096万ドル、サウジアラビアが6%増の2,060万ドル、香港が4%減の1,824万ドル、ベトナム3%増の1,715万ドル、インドネシア11%減の1,657万ドルとなっている。

2007年1～3月の韓国の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル、%

	輸 入				輸 出			
	2006年実績		2007年(1～3)		2006年実績		2007年(1～3)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
繊維品合計								
原料(綿)合計	TON	7,983,531	TON	2,027,430	TON	3,047,899	TON	103
スフ綿	TON	322,484	TON	180,876	TON	186,742	TON	110
合繊綿	TON	47,561	TON	30,109	TON	8,205	TON	117
(ポリエステル)	TON	15,413	TON	9,957	TON	258,184	TON	125
(アクリル)	TON	3,768	TON	885	TON	219,059	TON	126
糸合計	TON	6,637	TON	2,509	TON	20,411	TON	125
	TON	1,656,444	TON	411,719	TON	340,272	TON	92
人絹糸	TON	565,390	TON	146,317	TON	8,450	TON	111
スフ糸	TON	25,268	TON	6,684	TON	3,320	TON	140
合繊長繊維糸	TON	20,942	TON	16,871	TON	12,444	TON	179
(ナイロン)	TON	149,751	TON	126,671	TON	83,226	TON	91
(ポリエステル)	TON	22,934	TON	5,464	TON	274,908	TON	109
合繊短繊維糸	TON	108,894	TON	27,127	TON	61,309	TON	117
綿糸	TON	135,578	TON	66,540	TON	54,282	TON	85
	TON	351,884	TON	82,935	TON	18,582	TON	88
綿物合計	TON	220,395	TON	49,124	TON	7,605	TON	111
		1,058,256		251,244		600,626		96
絹織物		98,777		20,799		25,095		87
人絹織物	千SM	4,440	千SM	1,012	千SM	31,136	千SM	114
スフ織物		34,348		9,434		33,277		98
合繊長繊維織物	千SM	293,563	千SM	122,551	千SM	323,492	千SM	486
(ナイロン)	千SM	53,709	千SM	2,107	千SM	21,232	千SM	86
(ポリエステル)	千SM	190,357	千SM	95,875	千SM	254,465	千SM	639
合繊短繊維織物		161,146		40,918		41,449		90
絹織物		398,895		96,922		131,593		99
毛織物		150,969		20,550		70,341		91
不織布	TON	30,300	TON	7,295	TON	106,145	TON	106
タイヤコード織物		67,448		20,393		78,455		107
コーテッド織物		69,289		15,661		182,160		95
ニット生地		83,568		19,396		712,989		114
ニット製衣料		1,049,479		288,681		231,876		93
布帛製衣料		2,443,854		635,406		173,582		85
その他		714,048		169,286		350,033		98

出所:韓国通関統計

その他主要織物類では、綿織物が1%減の1億3,159万ドル、合繊短繊維織物が10%減の4,145万ドルと何れも減少推移となった。

このように織物類は総じて不振であるが、ニット生地は14%増の7億1,299万ドルと好調に推移しており、品目別で最大の輸出品目となっているのが注目される。

なお、衣料品の輸出は、布帛製衣料品が15%減の1億7,358万ドル、一方、ニット製衣料品も7%減の2億3,188万ドルと何れも低調な推移となっている。

―輸入は13%増の20億2,743万ドルと衣料品を中心に大幅増加―

一方、韓国の繊維品の輸入は、主に中国からの衣料品輸入の増加により、前年同期比13%増の20億2,743万ドルと2桁の増加となっている。

<国別・地域別輸入>

地域別では、シェア79%を占める東アジアは13%増の16億560万ドル、シェア12%の西欧が13%増の2億4,659万ドルと共に2桁の増加推移、一方、シェア4%の北米は5%減の8,694万ドルと減少推移となっている。

国別では、最大輸入先の中国は16%増の11億5,277万ドル、EUも16%増の2億2,896万ドルと上位2カ国は共に大幅に増加、続いて日本が1%減の1億787万ドル、米国が5%減の8,095万ドル、インドが1%増の7,672万ドル、インドネシアが9%増の6,818万ドル、ベトナムが38%増の5,374万ドル、台湾が8%増の4,488万ドルとなっている。

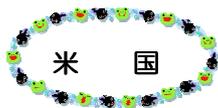
<品目別輸入>

品目別輸入では、綿類の輸入は数量で17%増の9万535トン、金額で10%増の1億8,088万ドルとなった。その大半は綿花を中心とする天然繊維原料の輸入である。

糸類の輸入は数量で9%増の14万6,317トン、金額で8%増の4億1,172万ドルと数量、金額共に増加推移となった。内訳は、最大品目の綿糸の輸入が減少したが、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸の輸入が高い伸びを記録した。

織物類の輸入は金額で1%減の2億5,124万ドルの微減となった。主要織物の内訳は、綿織物が12%減の9,692万ドル、ポリエステル長繊維織物が27%増の12,871万ドル、合繊短繊維織物は8%増の4,092万ドルとなった。

また衣料品の輸入は、中国からの輸入が急増しており、ニット製衣料品が24%増の2億8,868万ドル、布帛製衣料品は19%増の6億3,541万ドルと何れも大幅な増加となった。



◎ 2007年3月の繊維品輸入、中国が増勢を持続

2007年3月の米繊維品輸入は、最大供給国の中国からの輸入が18.3%増と増勢で推移、全体でも2.2%増と、4ヶ月連続の増加となった。

米国の繊維品輸入推移

単位:100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	▲0.7	16,103	0.4	32,812	▲0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,827	6.8	22,010	10.3	50,836	8.3
2006年	29,607	2.7	22,539	2.4	52,146	2.6
1月	2,504	10.9	1,698	3.2	4,201	7.6
2月	2,153	▲2.5	1,587	▲9.8	3,740	▲5.7
3月	2,362	0.9	1,687	▲2.4	4,049	▲0.5
4月	2,515	7.5	1,493	▲3.6	4,008	3.1
5月	2,706	6.2	1,669	▲2.1	4,375	2.9
6月	2,682	7.9	2,071	0.3	4,753	4.4
7月	2,520	7.1	2,032	2.0	4,551	4.8
8月	2,654	2.4	2,316	7.3	4,971	4.6
9月	2,435	▲2.1	2,324	9.2	4,759	3.1
10月	2,562	▲0.1	2,155	12.5	4,716	5.2
11月	2,353	▲2.7	1,824	3.1	4,177	▲0.3
12月	2,164	▲3.3	1,686	5.8	3,849	0.5
2007年	6,967	▲0.7	5,438	9.4	2,405	3.5
1月	2,373	▲5.2	1,919	13.0	4,292	2.2
2月	2,250	4.5	1,723	8.6	3,973	6.2
3月	2,341	▲0.9	1,797	6.5	4,138	2.2

注：前年比は増減、▲は減少。 出所：米国商務省（DOC）

【3月の輸入】

米国商務省が発表した2007年3月の米繊維品輸入は、41億3,787万SME（平方メートル換算）で前年同月比2.2%増（1～3月、前年同期比：3.5%増）と、堅調に推移。3月の輸入のうち、糸が3.2%減（同8.5%減）、織物6.8%減（同6.6%減）、その他繊維製品3.6%増（同4.8%増）で、ノン・アパレル全体では0.9%減（同0.7%減）の微減推移となった。一方、アパレルは伸び率が若干鈍化したものの、6.5%増（同9.4%増）と順調に推移、全体の押し上げに貢献している。

主要供給国で見ると、パキスタン、メキシコ、カナダは低迷したが、インド、インドネシア、バングラデシュ、ベトナム、最大供給国の中国が順調に推移、中でも中国は2007年1月から増勢で推移し、他国を量的にも圧倒している。

米国の繊維品輸入推移(主要地域・国別)

単位:100万SME、%

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 1-3月	前年 同期比
全世界	38,288	42,227	46,936	50,836	52,149	12,405	3.5
NAFTA	7,722	7,238	7,373	6,892	5,864	1,291	▲16.1
メキシコ	4,335	3,926	4,101	3,883	3,425	764	▲11.8
カナダ	3,387	3,312	3,272	3,009	2,439	527	▲21.6
CBI	3,830	4,046	4,168	4,169	3,796	867	▲1.5
ホンジュラス	1,099	1,165	1,209	1,262	1,144	263	▲3.4
エルサルバドル	817	895	895	897	744	179	18.7
ドミニカ共和国	743	758	772	725	588	106	▲27.0
ビッグ4	9,348	12,633	16,128	20,595	22,537	5,376	19.0
中国	4,963	8,288	11,662	16,763	18,614	4,501	24.9
韓国	2,032	2,097	2,301	2,027	2,139	523	1.6
台湾	1,391	1,356	1,302	1,083	1,172	265	3.4
香港	962	892	862	721	613	87	▲37.8
アセアン	4,766	4,980	5,140	5,145	5,754	1,430	▲0.1
タイ	1,316	1,098	1,114	1,052	1,019	232	▲13.4
インドネシア	1,215	1,151	1,275	1,354	1,599	421	5.3
フィリピン	817	794	711	643	694	149	▲11.8
ベトナム	358	827	905	950	1,148	316	17.3
カンボジア	474	561	673	740	870	222	▲0.1
EU	2,055	2,059	2,063	1,912	1,698	434	▲3.7
イタリア	518	533	462	385	325	88	0.7
ドイツ	551	484	479	453	383	80	▲26.0
その他	10,567	11,272	12,064	12,123	12,500	3,007	▲5.2
パキスタン	2,537	2,690	2,970	3,290	3,567	769	▲13.6
インド	1,545	1,666	1,915	2,334	2,654	717	7.5
バングラデシュ	1,150	1,110	1,109	1,314	1,495	409	10.9
トルコ	1,068	1,026	982	844	725	157	▲8.9

【3月の主要地域別輸入状況】

ビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）では中国が、またアセアンではインドネシア、ベトナム、カンボジアが増勢推移となり、いずれも増加推移となった。一方、NAFTA（北米自由貿易協定）パートナー（メキシコ、カナダ）及びカリブ海沿岸諸国（CBI）は低調な推移となった。その他地域の中では、バングラデシュ、インドは順調に推移したが、パキスタンは不振推移となった。

○ ビッグ4からの輸入は12.3%増（同19.0%増）と好調に推移、中でも最大供給先の中国がアパレル、その他繊維製品を中心に18.3%増（同24.9%増）と増勢を持続しており、特にアパレルは伸び率で46.5%増（同58.3%増）と抜きん出たものとなっている。因みに、中国からの輸入は全体の31%を占め、米繊維品輸入市場を席捲している。

一方、香港はアパレルが低調な推移となり35.3%減（同37.8%減）、韓国及び台湾は糸が増勢で推移したがアパレル、織物が不振推移となり夫々3.3%減（同1.6%増）、6.6%減（同3.4%増）となった。

○ アセアンからの輸入はアパレルが中心で、全体の76%を占めている。そのアセアンからは、タイが3.9%減（同13.4%減）、フィリピン14.0%減（同11.8%減）、マレーシア6.6%減（同15.4%減）と低調な推移となったが、主力のインドネシアが11.1%増（同5.3%増）、ベトナム19.6%増（同17.3%増）、カンボジア7.0%増（同0.1%減）と順調に推移し、アセアン全体では5.1%増（同0.1%減）となった。

○ NAFTA パートナーからの輸入はこのところ低迷が続いており、アパレル中心のメキシコが12.1%減（同11.8%減）、糸と織物主体のカナダは18.6%減（同21.6%減）と、両国合わせて14.8%（同16.1%減）の大幅な減少となった。

○ CBI からの輸入は、エルサルバドルが85.0%増（同18.7%増）、ニカラグア13.1%増（同23.3%増）、ハイチ13.0%増（同24.8%増）と増勢で推移したが、主要国のホンジュラスが7.0%減（同3.4%減）、コスタリカ7.4%減（同2.1%減）、ドミニカ共和国34.9%減（同27.0%減）といずれも不振推移となり、全体で2.0%減（同1.5%減）となった。なお、CBIからの輸入はアパレルが97%と殆どを占めている。

○ EU（15カ国）からの輸入は、ドイツが糸の不振で17.3%減（同26.0%減）、フランスは織物の低迷で32.4%減（同41.5%減）と、共に不振推移となったが、ポルトガルが41.2%増（同30.1%増）、ギリシャ23.8%増（同22.6%増）、フィンランド87.5%増（同106.5%増）と増勢で推移、また主要国のイタリアについてもアパレル、糸、織物が順調に推移し25.4%増（同0.7%増）となり、全体で9.0%増（同3.7%減）となった。

○ 上記の主要地域に含まれない「その他地域」からの輸入では、インドがアパレル、その他繊維製品を中心に10.5%増（同7.5%増）、バングラデシュはアパレルを主体に13.7%増（同10.9%増）と、共に順調に推移した。一方、主要供給国のパキスタンについてはアパレルは順調に推移したが、糸及び織物の不振で14.2%減（同13.6%減）となった。また、トルコについてもアパレル、その他繊維製品が振るわず1.2%減（同8.9%減）と低迷が続いている。

組合関係の会議と催事

[2007年5月]

1日(火)

輸入(大阪) 日本黄麻製品輸入協議会の2006年度会計監査が行われた。

8日(火)

輸入(東京) 「第144回企画委員会」(塘委員長) が開催され、①EPAの進捗状況②2006年度(平成18年度)第44期事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、について説明と審議が行われた。

10日(木)

輸入(東京) 「FTA検討会」(神谷議長) が開催され、日・ベトナムFTAについて情報交換が行われた。

11日(金)

輸出(大阪) 「第30回理事会」(岩竹副理事長) が開催され、①2006年度(平成18年度)事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書(各案)②2007年度(平成19年度)事業計画書及び収支予算書案(各案)③賦課金(案)④役員一部改選に伴う候補者の推薦(案)④第44回通常総会の開催日時及び場所決定について審議が行われ、承認された。

輸入(大阪) 「第340回理事会」(岩竹副理事長) が開催され、①2006年度(平成18年度)第44期事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書②2007年度(平成19年度)第45期事業計画書及び収支予算書案③賦課金(案)④役員一部改選に伴う候補者の推薦⑤定款一部変更⑥部会及び委員会に関する規約一部変更⑦EPAの進捗状況⑧アパレル委員会海外調査ミッション派遣⑨第44回通常総会の開催日時及び場所決定⑩業務報告(最近の繊維製品輸入状況)について説明と審議が行われた。

12日(土)～20日(日)

輸入(バングラデシュ) 繊維貿易情報センター・神山主任研究員と事務局はバングラデシュ繊維産業調査を行った。

15日(火)

輸入(大阪) 日本黄麻製品輸入協議会「第25回(2007年度)通常総会」が開催され、①2006年度(平成18年度)第24期事業報告書及び貸借対照表、収支計算書、剰余金処分案②2007年度(平成19年度)第25期事業計画及び収支予算書(案)③定款並びに諸規約改定、について説明と審議が行われた。

18日（金）

- 輸入**（大阪）①「第85回中国アジア専門委員会」（小関委員長）が開催され、中国国際技術智力合作公司日本支社・張支社長を講師に招き「現地日系企業の人事担当、これからの悩み」と題した講演が行われた後、①委員長及び委員交代②組合の委員会組織改編③台湾紡拓会よりの「TITAS2007」招待③EPAの進捗状況④ミッション派遣⑤組合関連事業の活性化について、それぞれ説明と審議を経て、情報交換が行われた。
- ②「寝具インテリア委員会・インテリアライフスタイル展出展者打合せ」（吉田委員長）が行われ、①ブースレイアウト②ブース設営等の進め方、について打合せが行われた。

23日（水）

- 輸入**（東京）①「第67回貿易制度専門委員会」（神谷委員長代理）が開催され、①「信用状統一規則の改定について」（講師：三菱東京UFJ銀行担当者）講演のあった後、②「平成20年度関税改正要望」に関するアンケート取り纏め内容について説明があった。
- ②「アパレル委員会正副委員長会議」（澤田副委員長）が開催され、委員長交代及び海外調査（スイス・クロアチア）日程案、について審議が行われた。

28日（月）

- 輸出入**（東京）経済産業省において「産構審・繊維産業分科会」が開催され、輸出入組合より山本理事長が出席された。

29日（火）

- 輸入**（東京）「在京絹委員会正副委員長会議」（川村委員長）が開催され、後任委員長及び委員会委員の構成、委員会活動活性化について意見交換が行われた。

30日（水）

- 輸出**（大阪）「第8回（2007年度）通常総会」（議長：山本理事長）が輸出繊維会館で開催され、①平成18年度事業報告書及び収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認に関する件、②平成19年度事業計画書及び収支予算書案承認に関する件、③平成18年度における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案の承認に関する件、④役員一部改選に関する件、について審議が行われ各案承認された。

- 輸入**（大阪）「第44回（2007年度）通常総会」（議長：山本理事長）が輸出繊維会館で開催され、①2006年度第43期事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認に関する件②2007年度第45期事業計画及び収支予算書案承認に関する件③賦課金（案）について④理事一部改選の件⑤定款一部変更の件⑥部会及び委員会に関する規約一部変更の件、について審議が行われ各案承認された。

- 輸出入** (大阪) 1. 「輸出組合・第 31 回理事会」、「輸入組合・第 341 回理事会」を同所にて開催、正副理事長の選任が行われた。
2. 引続き同所において、輸出組合と輸入組合の「合同懇親会」が開催され、役員、組合員、委員、当局など関係者が参加された。

輸出入

組合業務報告

一 輸出組合・第 8 回通常総会、輸入組合・第 44 回通常総会を開催一

I 輸出組合第 8 回通常総会の概要

輸出組合の第 8 回通常総会が、5 月 30 日（水）午後 3 時半より、大阪/輸出繊維会館 BM 会議室（大阪市中央区備後町 3-4-9）において、山本理事長及び各役員並びに組合員多数が出席して開催された。

総会の議案は次のとおりで、いずれも満場一致をもって承認された。

- 第 1 号議案：平成 18 年度事業報告書及び収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認に関する件
- 第 2 号議案：平成 19 年度事業計画書並びに収支予算書案承認に関する件
- 第 3 号議案：平成 19 年度における加入金、賦課金の額並びにその徴収の時期、方法案承認に関する件
- 第 4 号議案：役員一部改選に関する件

II 輸入組合第 44 回通常総会の概要

輸入組合の第 44 回通常総会が、5 月 30 日（水）午後 4 時半より、大阪/輸出繊維会館 BM 会議室（住所：同上）において、山本理事長及び各役員並びに組合員多数が出席して開催された。

総会の議案は次のとおりで、いずれも満場一致をもって承認された。

- 第 1 号議案：2006 年度（平成 18 年度）第 44 期事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、各案承認に関する件
- 第 2 号議案：2007 年度（平成 19 年度）第 45 期事業計画及び収支予算書案承認に関する件
- 第 3 号議案：賦課金（案）について
- 第 4 号議案：理事一部改選の件
- 第 5 号議案：定款一部変更の件
- 第 6 号議案：部会及び委員会に関する規約一部変更の件

III 合同理事会

通常総会終了後、大阪/輸出繊維会館 BM 会議室（住所：同上）において、輸出組合第 31 回理事会と輸入組合第 341 回理事会が合同開催され、以下の通り、理事長、理事長代行、副理事長、が選任された。

新正副理事長・専務理事・常務理事

理事長	矢野雅英	(三菱商事(株))	(出・入)
副理事長(理事長代行)	尾川勝也	(三菱商事(株))	(出・入)
副理事長	中西悦朗	(伊藤忠商事(株))	(出・入)
〃	足立 哲	(丸紅(株))	(出・入)
〃	岩竹常博	(三井物産(株))	(出・入)
〃	西田義博	(西田通商(株))	(出・入)
〃	北野 弘	(N I 帝人商事(株))	(出・入)
〃	田中和夫	(株三陽商会)	(出・入)
〃	石原啓資	(双日(株))	(出・入)
〃	大塚隆平	(住金物産(株))	(出・入)
〃	中山 純	(豊田通商(株))	(出・入)
〃	八木雄三	(八木通商(株))	(出・入)

IV 懇親会

午後5時半より、大阪/輸出繊維会館BMホールに於いて、輸出組合・輸入組合合同で懇親会が以下の次第で開催された。懇親会には、両組合の役員・組合員・委員、当局、報道関係者など、約120名が参加された。

1. 開 会 五十川委員
2. 挨拶 山本(前)理事長
矢野(新)理事長
3. 来賓挨拶 近畿経済産業局 高畑通商部長
4. 乾 杯 尾川(新)副理事長

◎ 米国 CBP、24 時間ルールの追加情報提出で 6 月にも最終規則案公表

米国の税関・国境警備局（CBP：US Customs & Border Protection）は、6 月にも米国への輸入貨物のセキュリティ強化策として 10+2 Initiative と呼ぶ 24 時間ルールの追加情報に関する最終規則案を公表する可能性がでてきた。CBP のデボラ・スペロ副長官が 15 日（現地時間）に開催された税関行政を論議する官民合同委員会（COAC：Commercial Operations Advisory Committee）の会合で見通しを示したものの、現行の 24 時間ルールは 14 項目の貨物情報を船積み 24 時間前までに CBP へ電子申告することになっているが、10+2 では新たに荷主関係で 10 項目、船社間系で 2 項目の情報が追加となり、これまで以上にデータ入力作業に時間と費用がかかることになり、貿易・物流業界にも大きな影響を与えることになるため注目されている。

スペロ副長官は、楽観的な見方としながらも、6 月公表に近づいていると指摘した上で、最終規則案はエコノミストの主導でマサチューセッツ工科大学（MIT）が費用対効果を分析した後、国家安全保障省（DHS：Department of Homeland Security）、続いて会計検査院（GAO：General Accounting Office）に提出、修正を経て、米官報（FR：Federal Register）に公示されることになるという。その後、60 日間に関係者からの意見を公募し最終規則を策定する手順になるが、COAC の一部委員からはパブリックコメントの期間を 90 日にするよう求める声も出ているという。

10+2 は昨年成立した SAFE Port Act（港湾安全法）で、自動ターゲティングシステム（ATS）のための収集データの範囲拡大を 1 年以内に定めるよう規定していることを受け、CBP で規則案の策定を進めているもので、荷主には、製造者の名前・住所、販売者の名前・住所、コンテナスタッフィング場所、コンソリデーターの名前・住所、バイヤーの名前・住所、荷送り先の名前・住所、輸入者の登録番号、商品の原産地、コンサイニー番号、HTS 番号（6 桁）の 10 項目、船社には積み付け計画、コンテナ・ステイサス・メッセージの 2 項目を追加することを義務付けるといわれている。



◎ 繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」について

別表に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成19年7月末日に終了しますので延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6ヵ月」延長されます。

記

- * 平成19年1月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
 - * 平成18年7月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの
- (注) 当初の保険責任期間は「前受け」6ヵ月、「前受け以外」12ヵ月となっております。

1. 提出期限：平成19年7月20日（金）
2. 提出書類：① 貿易一般保険包括保険（繊維品）
保険期間延長依頼書…………… 2通
(用紙は事務局で準備しています。)
- ② 延長を必要とする包括保険申込書のコピー…………… 1通
3. 提出先：総務部(☎06-6201-1832)

なお、延長手続きのFAXによる申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る2007年1月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 7	100001～ 100548 ----- 500001～ 500923	100001～ 100228	100001～ 100019

前受け以外に係る2006年7月度受付保険申込書番号

受付局区分 記号	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 6	103584～ 104189 ----- 506931～ 507934	101825～ 102080	100152～ 100172

お知らせ

－ 2007 年 7 月の輸入通関手続相談窓口開設日 －

2007 年 7 月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫 8 手続等々通関業務諸問題について
ご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2007 年 7 月 11 日（水）及び 7 月 25 日（水）
2. 場 所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時 間 午後 1 時より午後 5 時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03 (3270) 0791

Fax 番号 03 (3243) 1088

E-Mail 0023@j t i a . o r . j p (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以 上

組合員情報

- ◎ 組合員の脱会
 - ・(輸出・入) ㈱ヤギ (平成 19 年 5 月 31 日付)
- ◎ 商号変更
 - ・(新)スミテックス・インターナショナル (旧)住商テキスタイル㈱ (平成 19 年 5 月 1 日付)